



# 鶴小 ICT 通信

令和3年10月4日 第3号



## 様々な活用を通して

Active

学びを活性化する

Adaptive

学びを最適化する

Assistive

学びを支援する

分散登校が終わり、いよいよ本格的に二学期が動き出しました。緊急事態宣言は解除されましたが、気を緩めることなく、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら、子供達のより良い学びへとつなげていきたいと考えています。

1人1台のタブレット端末が整備され、分散登校中を含めて子供達が様々な場面で活用し始めています。今号では、子供達のこれまでの取組をいくつかご紹介いたします。

### 子供の様子 5年生

5年生は、体育のハードル走で、互いの姿勢を撮影し、自分自身の動きを確認したり、友達の良い動きを見て学んだりしました。操作にもすぐに慣れ、効果的に活用している様子から、さすが高学年だなと感じました。

2学期にはオンライン朝の会を実施したり、家庭学習にデジタルドリルを活用したりと、ますます活用の場が増えています。



### 子供の様子 1年生

1年生は、2学期から1人1台タブレット端末が整備され、まずは電源を入れるところから学習が始まりました。

下の活動は、図工で描いた魚の作品の写真を撮り、ペイント機能で新しい魚を描き足す学習です。大きな魚の周りに小さな魚を描いたり、同じくらいの魚を描いて並べたりと、子供達の豊かな発想に驚かされました。



### 子供の様子 2年生

2年生は、1学期中にeライブラリのデジタルドリルの使い方について学習しました。デジタルドリルは、自分で選んで学習ができるので、繰り返し学習して身につけたり、難しい問題に挑戦したり、興味がある教科を詳しく学んだり、個別最適化された学びの一助となります。どのくらい取り組んだのかも見てとれるので、子供達の意欲も高まっています。

